

● 教育委員会からのお知らせ ●

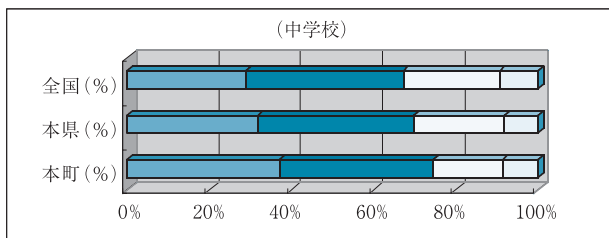
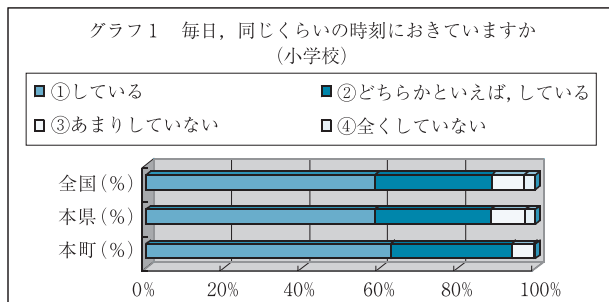
平成19年度全国学力・学習状況調査の結果について(その2)

先月号では、学力調査の結果をお知らせしましたが、今月号は、学習状況調査の結果をお知らせします。

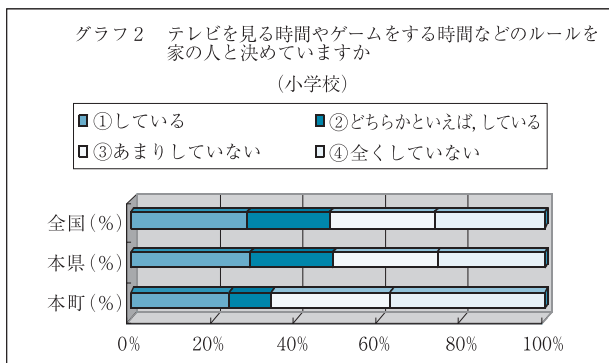
学習状況調査は、先月号と同じく、町内の小学6年生と中学3年生に対して、質問紙でなされたものです。内容は、基本的な生活習慣、家庭での学習時間やテレビ等の視聴時間、授業に対する心構え等、多岐にわたる調査項目からなります。

すべてについて述べることはできませんので、特徴的なものについてお知らせします。

家庭において規則正しい生活をしているかについて見てみると、全国や県と比較して、本町の児童生徒は望ましい姿が読み取れます。グラフ1から、毎日同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合が多いことが分かります。寝る時刻についても同じような傾向が見られます。

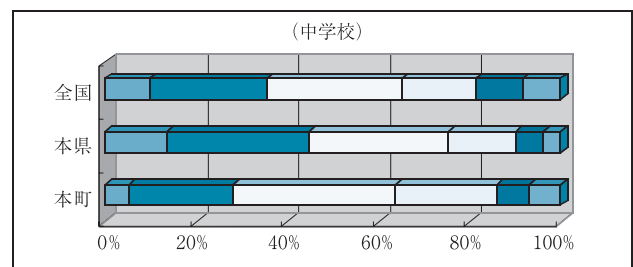
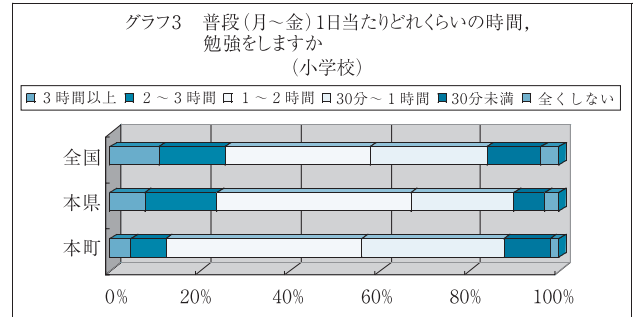


また、グラフ2を見ると、テレビの視聴時間等を決めていない家庭が多いようです(小学校)。決めていない、どちらかといえば決めていない児童の平均正答率は国語、



算数とも全体の正答率より1~2ポイント高いです。

次に、1日当たりの家での学習時間を聞いた結果がグラフ3です。



全国的に勉強をする人とならない人の二極化が指摘されていますが、本町の場合それほど顕著ではありません。ただ成績との関係は明らかで、全くしないと答えた人の平均正答率は町の平均を最大で18ポイント下回っています。そのほか、宿題をする人(小96%, 中91%), 復習をする人(小42%, 中60%), 予習をする人(小29%, 中21%), 特に予習をする人の割合が全国と比較しても低いです。

学問に王道なしと言われるように、日頃の授業や家での学習を充実させることや早寝・早起き・朝ごはんのように、規則正しい生活を送ること、長期の休みなどを利用して、いろいろな体験をすることなどが学力向上の鍵になります。

教育委員会では、今後も「汗をかく授業」の実践を推進していくと同時に、教育の動向を見極めて、各学校に的確なアドバイスをしていきます。

家庭でもお子さんの学力について関心を持ち、以下のような家庭でできることに取り組んでみてください。

- ① 早寝・早起き・朝ごはんの実践
- ② テレビの視聴時間や学習時間の話し合い
- ③ 読書の奨励

また、何より大切なことは、お子さんのことで学校と密接な連携をとることです。教育相談や学級PTAを利用したり、日頃から電話等で相談されたりすることを勧めます。